

平成31年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：花き・果樹・特産・水産担当

内線：4146

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B66	狭山抹茶振興モデル事業			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び水産業	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	平成29年度～平成33年度	根拠法令	なし				宣言項目	09 儲かる農業の推進	
							分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	
1 事業概要 抹茶の導入により狭山茶の新たな需要を創出し、産地力を盤石なものとするため、消費PRによる需要拡大、茶業研究所におけるモデル施設の整備、抹茶に関する試験研究及び技術普及を実施する。 (1) 抹茶製造設備の整備 0千円 (2) 抹茶製造にかかる試験研究 9,506千円 (3) 抹茶の生産・製造にかかる技術普及活動 230千円 (4) 抹茶用被覆資材等の導入支援 1,000千円 (5) 狭山抹茶の消費PR 4,404千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 抹茶製造設備の整備 0千円 茶業研究所の製茶工場に抹茶製造設備を整備するとともに、工場を衛生的な施設に改修し、県内のモデル施設として製造技術及び市場性を実証することで、産地における生産振興を推進する。 イ 抹茶製造にかかる試験研究 9,506千円 抹茶の生産を加速させるため、抹茶の栽培及び加工に関する技術の試験研究を実施する。 ウ 抹茶の生産・製造にかかる技術普及活動 230千円 生産者が技術的ノウハウを持ち得ないため、技術普及活動により産地の生産体制を構築する。 エ 抹茶用被覆資材等の導入支援 1,000千円 抹茶製造に必須の被覆資材の産地への導入を支援する。 オ 狭山抹茶の消費PR 4,404千円 PRパンフレットの作成、外国人へのPR体制の確立を行うとともに、食品加工業者と連携した新商品開発を行い、狭山抹茶の需要拡大を推進する。 (2) 事業計画 【事業名】 ア 抹茶製造設備の整備 H29 H30 H31 H32 H33 イ 抹茶製造にかかる試験研究 ○ ○ ○ ○ ○ ウ 抹茶の生産・製造にかかる技術普及活動 ○ ○ ○ ○ ○ エ 抹茶用被覆資材等の導入支援 ○ ○ ○ ○ ○ オ 狭山抹茶の消費PR ○ ○ ○ ○ ○ (3) 事業効果 狭山茶の新たな需要が拡大するとともに二番茶の有効利用が進み、生産者の収益向上が図られる。					
2 事業主体及び負担区分 (2) (3) (5) 国1/2 (4) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.6人=15,200千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	15,140	国庫支出金	6,951	諸収入				8,189	△3,876
前年額	19,016		8,872	1				10,143	